

# 市民記者のページ

## 菓子のまち下館

### 下館の菓子の歴史と、下館地区菓子組合の活動を紹介します

#### 菓子と共に歩んできた下館

城下町であった下館は、昔から菓子作りが盛んだったそうです。江戸時代に、武士の間に普及した「茶の湯」に和菓子が必要であったことに由来するといわれています。

現在の筑西市の菓子業は、和・洋菓子を製造・販売する小売業者が中心で、多くは下館地区菓子組合に加盟しています。下館のお菓子の歴史や、菓子組合の活動について、(有)佐藤米菓社長で、組合の会長である佐藤昭さんに伺いました。

#### 下館地区菓子組合とは

下館地区菓子組合は、戦中の食料統



わだ けいこ  
和田 恵子さん (櫻生)

市内には銘菓がたくさんあります。筑西市のお菓子の良さを多くの人に知ってもらえたらと思います。

制下に組織された同業者組合です。物資が不足した時代に菓子組合に加入することで、砂糖や塩、米など菓子作りに必要な原料を手にするのができたため、加入者が増えました。菓子組合の昭和40年の年間製造出荷額は36億500万円で、県内菓子生産の38%を占めたそうです。

組合では現在、「どすこいペア」や「やっぺえ」などのイベントで販売を行っています。市内だけでなく、銀座にある県のアンテナショップ「いばらきマルシェ」や、浅草の「まるごとっぽん」にも出店しています。

「イベントでは組合加入店の商品を並べて販売します。同じような商品でも内容量や値段、パッケージのデザインにより販売数に大きな差が出ま



▲浅草「まるごとっぽん」での販売

す。自社の商品改善のためのよい勉強になります」と佐藤会長は話します。



▲波山の鳩杖最中

また、組合では「波山の鳩杖最中」の製造・販売に力を入れています。これは、板谷波山先生が入っています。これは、板谷波山先生が下館の80歳を迎えた人に贈った鳩杖をモチーフにしたもので、皮は全店で統一されていますが館はそれぞれの店のオリジナルです。

#### 筑西の菓子の将来

今後、菓子組合では、国道50号線沿いにオープン予定の「道の駅」でも、地元の銘菓や地元限定の菓子を販売したいと考えているそうです。

伝統ある筑西市のお菓子の良さを多くの人に知ってもらいたいと、下館のお菓子とともに育った私は夢見ています。

ず〜っと笑顔で“自分らしく、安心して暮らせる、快適な住まい”

高齢者向け住宅  
入居者募集中

お気軽に  
お問合せください!!

Emiasu

▼ 見学・入居のご相談を随時承ります ▼

介護付き  
高齢者向け住宅  
えみあす二木成

0296-25-5851

(株)セキショウライフサポート

筑西市二木成827

http://www.sekisho-ls.co.jp/emiasu/

SEKISHO  
セキショウグループ  
セキショウライフサポート  
Sekisho Life Support

特別養護老人ホーム上の原

平成29年12月オープン予定

入居者募集

入所 50床  
ショートステイ 10床  
デイサービス定員 20名

オープニングスタッフ募集!

社会福祉法人 上の原学園

☎ 0296-75-2509 [HP] http://www.u-gaku.or.jp 担当:猪野

